

2 0 2 5 年度

事業報告書

自 2 0 2 5 年 4 月 1 日

至 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日

2025 年度 事業報告書

1. 事業環境

3 年半にわたるコロナの影響が収束し、景気が緩やかに回復しつつあるところに、ロシアや中東はじめ各地での紛争や中国における景気の減速が、経済活動から我々の生活にまでに影響が出てきました。

国内においては、原材料を始めとし、日々の生活に関するあらゆる物価の高騰が続いています。

2. 事業概要

このような事業環境の中、2025 年度は、国内では定修や日常メンテナンスの業務量としては堅調に推移し、会員各社とも多忙な年となりました。2024 年から適用が開始された建設業における時間外労働の上限規制には苦慮しながらも適切に対応してきました。

メンテナンス業界においては、原材料の価格高騰や資材不足、人件費の上昇などがありました。が、石油・化学プラントの定修工事に加え、設備の老朽化に伴う更新投資や、脱炭素に向けた環境対応投資などの案件があり、各会員会社の抱える工事量としては堅調に推移しております。

工業会としては、理事会や各種委員会は、年初計画に基づき、それぞれのテーマについて、Web 会議を併用し活発に活動を行いました。

フランチ締結技能講習制度については、約 5 年が経過し、認定講師および講習受講者数は年々増加し、様々な広報活動や設備オーナーへの認知度アップにより、会員数の増加にも寄与しています。

3. 会員数の現況

2025 年度の会員数の推移は次表のとおりです。

項目 種別	2025 年 3 月 31 日現在	2024 年度 会員数の推移			2026 年 3 月 31 日現在
		増 加	減 少	増減差引	
正 会 員	122	3	-3	0	122
賛助会員	32	4	0	4	36

【入会】

(正会員) ①三重機械鐵工 ②中央機工 ③日本化工機

(賛助会員) ①日本環境衛生センター ②センシンロボティクス ③アクシア

④ボストン・コンサルティング・グループ

【退会】

(正会員) ①東洋クラフトマン工機 ②オーバル ③おべ工業

4. 主要行事について

4-1. 通常総会、セミナー、表彰式、懇親会

日時：2025年6月5日 13時30分～18時30分

会場：如水会館 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番1号

(1) 通常総会（オリオン）

出席：正会員122名中115名出席（出席47名、委任状68名）

議事：第1号議案 2024年度 事業報告書(案)及び収支決算書(案)

第2号議案 2025年度 事業計画書(案)及び収支予算書(案)

第3号議案 役員の改選(案)

（議案は原案どおり可決）

(2) 講演会（スターホール）

参加：156名

題目：「企業における脱炭素の潮流 - 国内・欧州・世界の動向」

講師：田中 いずみ 氏（公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員）

(3) 表彰式（スターホール）

参加：169名

第9回日本メンテナンス工業会表彰

受賞：マイスター賞5件、スペシャリスト賞5件、

技術賞3件、奨励・普及賞2件

(4) 懇親会（スターホール）

参加：175名

4-2. 第9回日本メンテナンス工業会表彰

申請件数：マイスター賞5件、スペシャリスト賞5件、技術賞3件、奨励・普及賞2件

受賞者：

・メンテナンスマイスター賞

・エムイーシーテクノ(株)	大井 和典 氏
・レイズネクスト(株)	大廣 嘉美 氏
・山九重機工(株)	佐々木 豊 氏
・日鉄テックスエンジ(株)	田島 辰吉 氏
・J F Eプラントエンジ(株)	近藤 啓司 氏

・メンテナンススペシャリスト賞

・非破壊検査(株)	青柳 愉飛 氏
・(株)大和テック	吉岡 一彦 氏
・三平興業(株)	高本 友来 氏
・(株)吉田建設工業	村重 隆幸 氏
・(株)TSエンジニアリング	鈴木 哲矢 氏

・メンテナンス技術賞

・富士電機(株)	福島 宗次 氏
・(株)中部プラントサービス	新留 貴司 氏
・(株)高田工業所	篠原 誠 氏

・メンテナンス奨励・普及賞

・エムイーシーテクノ(株)	山口 智幸 氏
・山九(株)	河野 和弘 氏

4－3．見学会

日時：2025年10月17日（金） 9時40分～18時20分

会場：福島第一原子力発電所

（福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 22 番地）

参加：55 名

4－4．賀詞交歓会

日時：2026年1月15日 11時30分～12時50分

会場：如水会館 スターホール 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番1号

参加：90社213名（161社中）

来賓：経済産業省 製造産業局 国際プラント・インフラシステム・水ビジネス推進室

室長 桑田 香 様 （ご挨拶）

室長補佐 鎌形 祥子 様、

勝亦 祐愛 様

アクトアドバイザーズ税理士法人

代表社員(顧問税理士) 杵淵 祥志 様

5．理事会の概要

5－1．年初計画

第1回 2025年5月15日(木)

第2回 2025年6月5日(木)

第3回 2025年9月4日(木)

第4回 2025年12月4日(木)

第5回 2026年3月5日(木)

5－2．実績

第1回 2025年5月15日 如水会館とWeb 併用（全議案→可決）

議事：第1号議案 役員の一部交代について

第2号議案 2025年度 通常総会について

第3号議案 2024年度事業報告書案及び収支決算書案について

第4号議案 2025年度事業計画書案及び収支予算書案について

第5号議案 役員の改選案について

第6号議案 プラントメンテナンスショーについて

第2回 2025年6月5日 如水会館（全議案→可決）

議事：第1号議案 役員の改選(案)

第2号議案 役員の役割分担

第3回 2025年9月4日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）

議事：第1号議案 正会員入会について
第2号議案 工業会表彰制度について

第4回 2025年12月4日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）

議事：第1号議案 正会員入会について
第2号議案 新年賀詞交歓会について

第5回 2026年3月5日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）

議事：第1号議案 2025年度工業会表彰について
第2号議案 フランジ締結技能講習制度 年会費徴収について

6. 委員会活動の概要

6-1. 総務委員会

委員会は、会場と Web 併用で 5 回開催し、理事会の事前審議を行いました。

主な事前審議及び委員会活動は以下の通りです。

1. 通常総会、賀詞交歓会の会場開催
2. 工業会表彰審査結果の審議
3. 入会会社の調査：入会（正 3 社・賛 4 社）、退会（正 3 社・賛 0 社）
4. メンテナンスショー出展運営協力及び次年度の企画
5. 工業会の収支改善策の検討及び立案
6. 省庁及び関連団体との連携による情報収集と展開
 - (ア) 経済産業省：スマート保安の国際会議参加（1 回）
 - (イ) 厚生労働省：工作物石綿事前調査者について会議参加（3 回）
 - (ウ) 石油化学工業協会：定修会議関連会議参加（1 回）
7. 人材不足対策として 3 校の学生向けにメンテナンス講座を実施しました。
企業説明会には、2 校で 6 社が参加しリクルート活動を実施しました。

6-2. 企画推進委員会

委員会（認定講師連絡会含む）は、会場と Web 併用で開催し、主な活動内容は、以下の通りです。

1. フランジ締結技能講習制度の維持管理とブラッシュアップ
 - (1) 認定講師審査会：12 回、認定講師：25 名認定（累計：258 名 44 社）
 - (2) 技能講習受講者：5,293 名（累計：20,293 名）
 - (3) 認定講師連絡会：6 回
 - (4) スキルアップ研修：1 回（会場 17 名、Web101 名、録画視聴 154 名）
 - (5) メンテナンスショー実演コーナー運営
 - (6) 設備オーナー様への PR 活動：5 社
 - (7) 本制度賛同入会会社：2 社（累計：29 社）

6-3. 調査統計委員会

1 年調査

- ・ 会員企業 1 年調査を実施し、長時間労働や人材不足、働き方改革等を含め、内容を精査した結果を会報第 115 号に掲載しました。

3 年調査

- ・ 同時に会員企業実態 3 年調査も実施し最終確認の上、実態調査報告書 2025 年度版として発行しました。
- ・ 2022 年度を第一回目として新入社員離職率調査を実施しましたがアンケート回答数少なく 2025 年度 3 年調査項目から除外しました。

6－4．広報活動委員会

委員会は、会議室と Web 併用で 4 回開催し、主な活動内容は以下の通りです。

1. 会報内容の充実
 - ・ 理事の方の顔写真を載せて紹介（第 114 号）
 - ・ 各委員会活動報告
 - ・ メンテナンスに関する技術や特集の掲載
 - ・ 会報の用紙を見直し（経費削減）
2. ホームページの充実
 - JAMSEC 会員向けの新着情報（TOPICS）を充実し掲載
3. プラントメンテナンスショーに出展する会員企業の取材など。
2025 年度プラントメンテナンスショーは、東京（7 月）で開催。当会は、特別協賛として出展。（東京 ビッグサイト東 4 ホール展示棟）
会員企業の支社・支店の都道府県拠点を PC モニタで表示した。（検索・選択）

6－5．教育研修委員会

メンテナンスの高度化、高付加価値化を目指すための研修会などの企画また、学生への PR 活動など以下に実施いたしました。

1. 研修会の企画・運営
 - (1) 講演会（通常総会時） 6 月 5 日 開催
講演者 田中いずみ
（公益財団法人自然エネルギー財団上級研究員）
題目 「2050 年再生エネルギー 100%をめざすデンマークの挑戦」
参加者 156 名
 - (2) 工場見学 10 月 17 日 開催
福島第一原子力発電所見学
参加者 55 名
2. 大学・高専講座に対する支援
 - (1) 西日本工業大学講座 1 月 6、20、21 日実施
講義会社：工業会・旭化成エンジニアリング・三興コントロール
 - (2) 新居浜高専講座 8 月 22 日 10 月 20、27 日実施
講義会社：アズビル・工業会・横河ソリューションサービス
 - (3) 大分県立工科短期大学校講座 12 月 8 日実施
講義会社：工業会・日鉄テックスエンジ

6－6．法令・規格委員会

2025 年度は、会場と WEB 併用で委員会を 6 回開催し、主に以下の活動を行いました。

1. 各省庁の協議会・部会等の重要報告
 - ・ 建設業法では、「労務費の基準」に関する説明会が実施されました。
労務費に関する基準ポータルサイトが 2025/12/10 開設されました。
 - ・ 働き方改革について動きはないが、調査は継続していきます。
2. 担い手 3 法改正、下請法改正の調査、それらに関する会員企業への展開
 - ・ 担い手 3 法（公共工事の品質確保の促進に関する法律、建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律）の改正内容をまとめ、114 号会報に掲載しました。
 - ・ 下請法の改正が 2026 年 1 月施行されました。名称も、中小受託取引適正化法（通称：取適法）に変更されました。

6－7．評価提案委員会

1.「工業会表彰制度」の制度定着化

①表彰制度の実績調査を継続し、状況に応じて改善策や追加の施策を検討

- 受賞のインセンティブとして受賞ロゴを定め、受賞者への配布を決定。
- 実績調査を継続、追加の施策として③をメインで実施する事とした。

②応募を促す広報活動等の検討

- 総会、メンテショーにて PR を実施（事務局に依頼）

③中小会員企業および協力会社（会員推薦）が申請しやすくするために、申請時の「申請の手引き（申請書類のサンプル）」の作成を検討

- 申請書類を記入しやすい様に改定し、あわせて各賞の記入ガイドを作成

※2024 年度新設のスペシャリスト賞の申請が 9 件（前年比+3 件）と増加

【課題】①審査書類提出時の「資料の取扱いに関する秘密保持」条項

②技術賞、奨励普及賞の申請数低迷

2.「人材確保のための P R 方法」の検討

①業界の実態調査見直し検討

- 調査対象となる石精、エチレンプラントの統廃合などの動向を考慮し、2025 年度はペンディングとした。

②業界の魅力・イメージアップ方法の調査・研究

- 2026 年度活動計画にて以下の実施を決定
工業会 HP 掲載の「プラントメンテナンス業ってどんな仕事？」、及び、職種紹介リーフレット（2024 年度実施）の周知・活用促進方法を検討

6－8．技術研究委員会

2025 年度は下記のテーマを実施しました。

①新技術は下記の 2 件を紹介し、ホームページの「最新のメンテナンス技術の紹介」にも掲載しました。

- ・インフラレーザー：ファイバレーザーによるインフラ構造物向け表面処理ソリューション。委員会で市原市の古河電工ラボでの実地見学会を実施し、有効性を確認しました。
- ・Float Arm：伸縮可動ロボットアームで安全な検査を可能にします。

②不具合と改善についての事例を会員各社への情報提供を行う目的で事例収集を行いました。しかし、メンテナンス作業における不具合事例が少なくフランジ部の漏洩、ライニング機器・配管の損傷の事例報告に留まりました。

③官公庁への会合については興味深い会合がなく、参加しませんでした。

以上